

マテリアリティ(重要課題)

	サステナビリティ重要課題 (マテリアリティ)	主な取り組み (社会課題/機会やリスクへの対応)	KPI・中長期目標(2030年度)	関連するSDGs 最重要分野		
事業活動	<ul style="list-style-type: none"> ● クルマの様変わりへの対応 ● 交通死亡事故の低減による 安心・安全・快適な モビリティ社会の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ● BEV化に向けた新製品の開発 ● BEV先行市場・OEMへの拡販 <p>● 全ての人に安心・安全・快適を届けるための エアバッグ製品の開発・拡販</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● BEV関連売上収益比率: 40% <p>目標設定の計算式 BEV生産台数／自動車生産台数 ※S&Pグローバル情報に基づく</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エアバッグの生産個数 : +1.5倍 (2022年比) 	 3 すべての人に 健康と福祉を		
	<ul style="list-style-type: none"> ● コア技術を活用した 新規事業の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規事業開発の経験を活かした新規ビジネス拡大 ● コーポレートベンチャーキャピタルの活用 ● スマート工場の具現化(生産性倍増) 	<ul style="list-style-type: none"> ● キャッシュ・アロケーションに基づく (安心・安全、快適、脱炭素の貢献領域の拡大を目指した研究開発費や 人的投資、戦略投資を中心に資金配分) 	 9 産業と技術革新の 基盤をつくる		
	<ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出量削減・ 温室効果ガス排出量 削減による 脱炭素社会の構築 ● 廃棄物低減・ 水リスク低減による 循環型社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● ゴム・樹脂分野の知見を活かした 環境配慮型ビジネスの構築 ● カーボンニュートラルの実現に向けたグローバル一体活動 ● 循環型社会への貢献(Car to Car リサイクル) 	<ul style="list-style-type: none"> ● スコープ1,2: カーボンニュートラル ● 廃棄物量(総量)【単体】: △50%(2012年比) ● スコープ3: △27.5%(2019年比) ● 廃棄物量(原単位)【海外】: △55%(2015年比) ● 再エネ導入率: 100% 	 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	 12 つなぐ責任 つくる責任	 13 貧困をなくす くじらの目
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会との共生 ● 多様な人材の活用推進・ 人権尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会に根差した取り組み (地域自立的経営、センターオブエクセレンス) ● ダイバーシティ&インクルージョン ● 安全・健康経営 ● サステナビリティ経営を支える品質とサプライチェーンの強化 ● 地政学および経済的リスクへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権に関する研修実施率: 100% ● 従業員エンゲージメント肯定率【単体】: 75% ● 海外拠点の地域幹部職比率(副社長以上): 60%以上 ● 女性管理職数(比率)【単体】: 100人 (8.8%) ● 中途採用者の管理職比率【単体】: 30%以上 ● 重大災害発生件数: 0件 ● 仕入先のサステナビリティ活動実施率: 100% 	 8 繁榮がいる 経済成長も	 10 人や国の不平等 をなくす	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 誠実な会社としての コーポレートガバナンス ● コンプライアンスの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ● BCPのレジリエンス強化 ● 内部統制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大法令違反件数: 0件 ● サイバーセキュリティ重大インシデント: 0件 	 16 和平と公正を すべての人々に		